

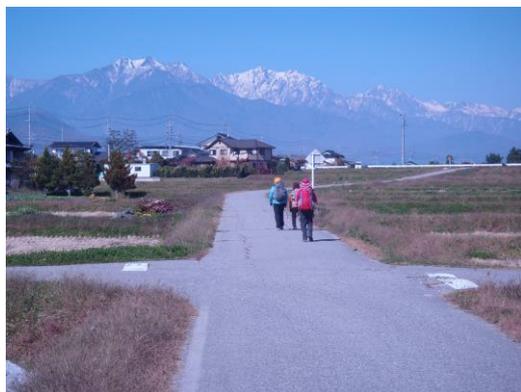
日程 平成 29 年 11 月 3 日～5 日 (北アルプス) 塩の道 (最終回)

11/3 信濃池田ー仁科神宮ー信濃大町

11/4 松本ーアルプス公園ー熊倉の渡しー豊科ー穂高

11/5 根知ー越後大野ー糸魚川

撮影者 長島



アルプスの見える道

信濃池田から大町へは新雪を被った後立山連峰を見ながらの道。国宝の仁科神宮が人知れず道端にそっと残されている。鉄道、国道が犀川の対岸を通っているため、取り残されたような里だが、雰囲気がとてもいい。

牛つなぎの石

塩を積んだ牛がついたと言われる松本市内の牛つなぎ石。ここが塩の道の終点であり、北に向かった我々にとってスタート地点である。2日目はここから穂高駅まで里道と車道を繋いで歩く。旧道はほとんど残っていなかった。



最後の峠

塩の道の最終区間は根知から糸魚川への道。低いながら最後の中山峠を越える。峠を越えると空が広くなり、遠くに海が見えてくる。

日本海

塩の道のゴールは北国街道（現国道8号線）との分岐点。現在は消波ブロックの積まれた護岸堤防であった。

120キロに及ぶロングトレイル。舗装路も歩くという本来の山登りではない企画であったが、倶楽部創生期に先達が楽しんでいた倶楽部の活動＝ハイキングの一端を感じることができた。

